

## 今号の作業

# 燃料タンクの組み立て ①



組み立て作業の1回目となる今号では、燃料タンクの左右にホンダのロゴ・マークを取り付ける。単純な作業ではあるが、電子回路を組み込む際にこのロゴ・マークをいったん取り外し、付け直す作業が必要になる。その際の作業効率を高めるためにも、慎重に作業を進めよう。

### 今号のパーツ

①



②

HONDA

③

HONDA

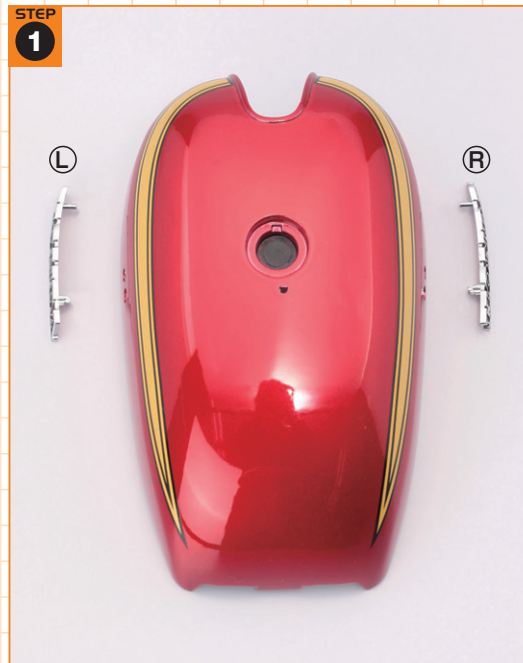
- ① 燃料タンク×1
- ② ロゴ・マーク左(L)×1
- ③ ロゴ・マーク右(R)×1

### あると便利な道具

- ・カッターナイフ
- ・金ヤスリ(目の細かい模型用)

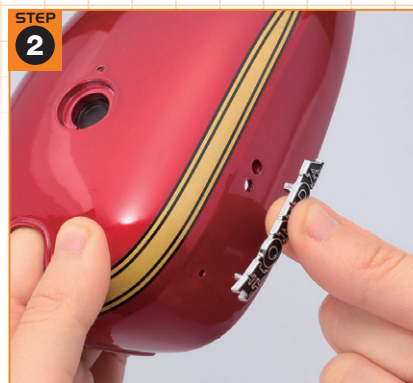
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

STEP  
1



まず、パーツを写真のように並べてみよう。ロゴ・マークには左右があり、パーツの裏側には「R(=Right/右)」「L(=Left/左)」の刻印があるので、それぞれ確認しておこう。タンクの両サイドにはそれぞれ3個の穴が開けられているが、「フチに段差がある穴」は今回の作業では使用しない。タンクの前側から数えて1番目と2番目の穴を使用する。なお、シリーズ中盤以降の作業でロゴ・マークを脱着することになるので、今回は接着せずに仮組みとなる。

STEP  
2



左側のロゴ・マークから取り付け作業を始めよう。「ロゴ・マーク左」の太いピンを「段差のある穴」の前側の穴に差し込む。この時、穴に対してピンが垂直になるよう調整する。また、細いピンの先端も穴に合わせておく。

STEP  
3



太いピンを真っ直ぐに押し込み、細いピンの先端もタンクの穴に差し込まれたら、両手の親指で両方のピンを均等に押し込む。押し込み加減が均等でないピンに無理な力がかわり、破損してしまう恐れがあるので注意が必要だ。



ロゴ・マークを均等に押し込み、最後はタンクに密着するよう力を加えて押し込む。もしもタンクの中に“すき間”が空いている場合は、タンクの裏側からピンを少しだけ押し戻し、ロゴ・マークがタンクと平行になったことを確認してから再度押し込む。



右側のロゴ・マークもSTEP②～④と同じ手順で取り付ける。左側同様、ピンの先端と穴の位置を合わせておく。



両手の親指に力を入れ、ロゴ・マークを確実に押し込んでタンクと密着させる。間にすき間が空いていなければOK。

### 今号の完成



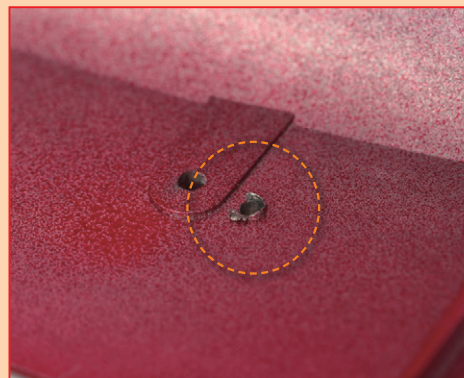
これで今回の作業は終了となる。なお、シリーズの中盤以降、電子回路の組み込みを行う際にロゴ・マークの脱着を行うので、タンクの内側に突き出したピンが折れないよう注意して保管しよう。

## 使い慣れた工具を使用する



本シリーズでは、ビスの締め込みに使う+（プラス）ドライバーや、6角レンチといった専用工具も提供する予定だが、使い慣れた工具があればそれを使っても構わない。使用する工具については毎回リストで紹介するので、用途に合ったものを用意しよう。

## 組み立て前にパーツをチェック

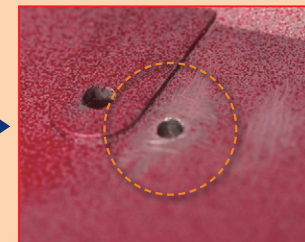


ロゴ・マークを取り付ける穴の裏側に「バリ」が残っていた。

パーツのフチや裏側を見ると、時々“成型時にできた余分な部分”が付着していることがある。これは「バリ」と呼ばれるもので、そのままでは組み立て作業や仕上がりの支障になってしまう。そのため、カッターナイフや金ヤスリ（※模型用の目の細かいタイプ）を使い、事前に取り除いておくことをお勧めする。



模型用のヤスリを使い、バリを慎重に削り取る。



バリを取り除いた状態。穴の形状を歪めないよう、バリだけを削り取るようにする。